

第2部

# 基本構想

I 将来像

II 20年後のまちの姿（市民の区分別）

III 「将来のまちの姿」を実現するための基本理念

IV 土地利用

V 施策の大綱



# 将来像

## 人と自然が織りなす しあわせ実感都市 瀬戸内

近年、国民が得る幸福感は、必ずしも所得や消費量等といった経済的・物質的な状況に左右されるものではなく、生活を楽しみ、自らの主体的で個性的な生き方を選択できるなど、心が満ち足りた精神的な満足感によるものへと変化してきていると言われています。

瀬戸内市は、「人と自然が織りなす しあわせ実感都市 瀬戸内」を将来像とし、本格的な人口減少・長寿社会が到達した後においても、暮らす地域にかかわらず、市民一人ひとりが、自然に恵まれ、安全・安心に暮らせるまちの中で、夢と希望を持って健康に暮らし、このまちに生まれてよかった、住んでよかったと思える、幸福が実感できるまちを目指します。

そして、市民一人ひとりが幸福を実感することで、地域の幸福をも実現します。

# 20年後のまちの姿(市民の区分別)

瀬戸内市では、将来像を実現するため、まちの現状と課題を踏まえ、本計画の主役である市民の年齢や生活形態、置かれている状況等の違いに着目し、それぞれの状態ごとに目指すべき20年後の姿を展望しました。

今後、その状態を実現するための取組を積極的に進めることにより、QOL\*の向上を目指すものであり、その達成度については、市民まちづくり意識調査により定期的に把握しています。

### ■「乳幼児（0歳～5歳）とその家庭」にとって

**瀬戸内市は、安心して子どもを出産し、育てることができるまちをつくりまします。**

安心して出産できるまちづくりを進めます。

子育て中の親同士の交流を通じた孤立防止や、地域全体で子育てできる環境をつくり、働きながらでも安心して子育てができるなど、笑顔で子育てできるまちづくりを進めます。

健康で元気な子どもが育つよう、安全で安心して楽しく遊ぶことができる場所づくりを進めるとともに、安心して医療が受けられる環境づくりを進めます。

また、子どもの感性を豊かに育てるとともに、人にやさしく物を大事にし、かつ社会の規律が守れる教育を進めます。

#### 指標

名称	単位	現状値	目標値				
		R2	R4	R6	R8	R10	R12
「安心して子どもを出産し、育てることができるまち」を実感している市民の割合	%	65.1	67.0	69.0	71.0	73.0	75.0

※現状値は令和2年度市民まちづくり意識調査結果による。以下同じ。

## ■「小学生・中学生・高校生（6歳～18歳）とその家庭」にとって

### 瀬戸内市は、子どもたちが夢を育むことができるまちをつくります。

規則正しい生活習慣を身につけるとともに、安全で安心して医療が受けられる環境のもとで、子どもたちがのびのびと過ごせるなど、元気な子どもが育つまちづくりを進めます。

特色ある学校づくりを進めるとともに、一人ひとりの子どもを伸ばす教育を進めます。同時に、地域住民みんなで子どもたちの見守りができるまちをつくることにより、通学も含め安心して教育を受けることができる環境づくりを進めます。

子どもたちの道徳性や社会性を養うことにより、人にやさしく、物を大事にする心を学びます。同時に、社会の規律を守り、スポーツをはじめ、興味のあることを自ら学び伸ばしていくための環境づくりを進めます。

瀬戸内市を故郷として誇りが持て、愛着が持てるまちとなるよう、自然環境を守るとともに、歴史や文化を体験しながら学習できる機会をつくります。

また、子どもを持つ家庭にとって、働きながらも安心して子どもたちが成長できる環境づくりを進めます。

#### 指標

名称	単位	現状値	目標値				
		R2	R4	R6	R8	R10	R12
「子どもたちが夢を育むことができるまち」を実感している市民の割合	%	37.6	40.0	42.5	45.0	47.5	50.0

## ■「青年期・壮年期（19歳～44歳）」にとって

### 瀬戸内市は、住んでいることを誇れるまちをつくります。

道路、通信網等の社会基盤や上水道をはじめとするライフライン\*、下水道の整備を進めるとともに、雇用の場や定住場所を確保します。

みんなが健康で、災害や犯罪のない安全な地域の中で、安心して子どもを出産し育てるなど、安定的に自立した生活が送れるまちづくりを進めます。

また、余暇を有効に利用し、市民が学びの機会を通じて、心と体にゆとりが生まれ、より豊かな人間性を育むとともに、市民が互いに協力しあえるまちづくりを進めます。

#### 指標

名称	単位	現状値	目標値				
		R2	R4	R6	R8	R10	R12
「住んでいることを誇れるまち」を実感している市民の割合	%	52.9	55.4	57.8	60.2	62.6	65.0

## ■「中年期（45歳～64歳）」にとって

**瀬戸内市は、子どもと一緒にこのまちに住んでよかったと思えるまちをつくります。**

雇用の場や地域活動の場を確保するとともに、ゆとりある生活の中で学びや交流の機会を持つなど、社会や地域とのつながりが持てるまちづくりを進めます。

日常生活をはじめ、防災や防犯、健康面など、老後の心配がなく、家族みんなで自立した生活が送れるなど、退職してもこのまちに住み続けたいと思えるまちづくりを進めます。

### 指標

名称	単位	現状値	目標値				
		R2	R4	R6	R8	R10	R12
「子どもと一緒にこのまちに住んでよかったと思えるまち」を実感している市民の割合	%	60.6	62.4	64.3	66.2	68.1	70.0

## ■「高齢者（65歳～）」にとって

**瀬戸内市は、元気に暮らせるまちをつくります。**

地域ぐるみの支え合いによる孤立防止やフレイル予防\*をはじめ、適切な医療や福祉、介護サービスが受けられる環境づくりや地域包括ケアシステム\*の充実を進めます。また、今後ますます増加が予想される認知症の人に対し、早期発見・早期対応し、地域で見守る体制づくりを進めます。

生涯現役として活躍できる場があり、また、社会や地域とのつながりを持ち続けることは、高齢者の生きがいとなり、元気で自立した生活につながります。仕事やボランティア活動、地域活動、生涯学習やスポーツ活動への参加をはじめ、伝統文化や技術を次の世代に継承する活動を行うなど、積極的に学びや交流が持てる機会をつくります。

また、高齢者にとって移動手段の確保は日常生活を送る上で大変重要な課題となります。自家用車に頼らなくても一定の利便性が確保できるよう公共交通網の整備を進めます。

超高齢化社会の到来により、一人暮らしや高齢者夫婦世帯の増加が予測される中で、防犯をはじめ、交通安全対策や災害に強いまちづくりを進めます。

### 指標

名称	単位	現状値	目標値				
		R2	R4	R6	R8	R10	R12
「元気に暮らせるまち」を実感している市民の割合	%	57.9	60.4	62.8	65.2	67.6	70.0

## ■「人権を尊重する市民」にとって

### 瀬戸内市は、だれもがいきいきと明るく暮らせるまちをつくります。

すべての人が思いやりを持ち、お互いを見守りながら、悩みがあれば相談し合える関係をつくることにより、一人ひとりが尊重され、誰もが居場所と役割を持ち、安全に、安心して平穏な生活を営むことができるまちづくりを進めます。

また、世代間交流やボランティア活動への参加を通し、福祉の心を持った市民を育てることにより、差別や偏見のない「心のバリアフリー」社会の実現を目指します。

#### 指標

名称	単位	現状値	目標値				
		R2	R4	R6	R8	R10	R12
「だれもがいきいきと明るく暮らせるまち」を実感している市民の割合	%	49.4	51.6	53.7	55.8	57.9	60.0

## ■「学ぶ市民」にとって

### 瀬戸内市は、互いに学びあい、教えあい、人がつながるまちをつくります。

一人ひとりの子どもを伸ばすため、安心して教育が受けられる環境づくりを進めるとともに、人にやさしく物を大切に作る人づくりを進めます。

生涯にわたって学び続けるため、学びのきっかけを様々な場面で持つことができる機会をつくり、ともに学べる仲間の中で、市民が学び方・調べ方を知ることができる環境づくりを進めます。

今まで学ぶことに関心のなかった市民に対しても、学習に対する意欲が持てる、学習の楽しさが実感できる環境づくりを進めます。

伝統文化や技術を次の世代に引き継いでいくことは現在に生きる私たちの責務です。幅広い年代の人との交流を通じ、学ぶ意欲にあふれ、瀬戸内市が誇るこれらの伝統を次の世代に継承できるまちづくりを進めます。

#### 指標

名称	単位	現状値	目標値				
		R2	R4	R6	R8	R10	R12
「互いに学びあい、教えあい、人がつながるまち」を実感している市民の割合	%	44.9	47.0	49.0	51.0	53.0	55.0

## ■「外国人」にとって

### 瀬戸内市は、暮らしやすい国際性の豊かなまちをつくります。

偏見や差別のないまちの中で、外国人が安心して医療、介護・福祉サービスを受けることができ、かつ、雇用の場を確保するとともに、まちの伝統・文化に触れられる機会や地域活動に参加・参画できる環境づくりを進めることにより、瀬戸内市に住んでみたいと思えるまちづくりを進めます。

また、にぎわいと活気のある観光のまちづくりを進めることにより、外国人が瀬戸内市を訪れてみたいと思えるまちづくりを進めます。

#### 指標

名称	単位	現状値	目標値				
		R2	R4	R6	R8	R10	R12
「外国人にとって暮らしやすい国際性の豊かなまち」を実感している市民の割合	%	21.3	23.2	24.9	26.6	28.3	30.0

## ■「健康で自立した生活を願う市民」にとって

### 瀬戸内市は、元気でいきいきと暮らせるまちをつくります。

自身の健康状態を常に把握するため、各種検診を積極的に受診するとともに、日頃からの運動習慣づけや健康についての相談が気軽にできる環境づくりを進めます。

また、質が高くいつでも安心して医療が受けられることにより、健康で自立した生活を送ることができるまちづくりを進めます。

また、要支援・要介護であっても、施設や介護サービスを安心して利用することができ、安心して暮らせる体制整備を進めます。

#### 指標

名称	単位	現状値	目標値				
		R2	R4	R6	R8	R10	R12
「元気でいきいきと暮らせるまち」を実感している市民の割合	%	57.8	60.4	62.8	65.2	67.6	70.0

## ■「医療を受ける市民と医療従事者」にとって

### 瀬戸内市は、いつでも安全に安心して医療サービスが受けられるまちをつくります。

健康に対する市民の意識が高いまちを目指すとともに、病気になったときに身近なところで、質が高く、市民の医療ニーズに合ったサービスが受けられる環境づくりを進めます。

また、市民病院と地域の診療所との病診連携\*を進めるとともに、医師の確保に努めます。

#### 指標

名称	単位	現状値	目標値				
		R2	R4	R6	R8	R10	R12
「いつでも安全に安心して医療サービスが受けられるまち」を実感している市民の割合	%	54.2	56.2	58.4	60.6	62.8	65.0

## ■ 「障がい者」にとって

### 瀬戸内市は、毎日明るく、明日へ希望が持てるまちをつくります。

障がい者が安心して自立した生活を送れるよう、障がい者関連施設の整備やサービスの充実を進め、地域ぐるみで障がい者を支え合うまちづくりを進めます。

また、障がい者が仕事も含め、自分の能力を活かせるまちづくりを進めるとともに、ユニバーサルデザイン\*の視点によるまちづくりや、バリアフリー化された地域の中で、安心してこのまちに住み続けたいと思えるまちづくりを進めます。

障がい者の家族にとっても、精神的・経済的な負担を感じることなく、障がい者と共に仲良く暮らせる支援を進めます。

#### 指標

名 称	単 位	現状値	目標値				
		R2	R4	R6	R8	R10	R12
「毎日明るく、明日へ希望が持てるまち」を実感している市民の割合	%	26.1	30.8	35.6	40.4	45.2	50.0

## ■ 「経済的に困窮する市民」にとって

### 瀬戸内市は、生活困窮者が自立できるまちをつくります。

産業の活性化等により雇用を生み出し、雇用の場を確保することにより、ひきこもりの予防や、自立するための希望が持てるまちづくりを進めるとともに、地域での支え合いをはじめ、生活困窮者に寄り添い、自立するための支援が受けられるまちづくりを進めます。

#### 指標

名 称	単 位	現状値	目標値				
		R2	R4	R6	R8	R10	R12
「生活困窮者が自立できるまち」を実感している市民の割合	%	20.2	26.0	32.0	38.0	44.0	50.0



## ■「瀬戸内市で生活（通勤・通学を含む）する人」にとって

### 瀬戸内市は、愛着が持て、誇れるまちをつくりまします。

日常生活を営む上で必要となる道路、公共交通網、上下水道や通信網をはじめとした生活基盤の整備を進めるとともに、防災や防犯に対する意識を高め、市民はもとより、瀬戸内市に通勤・通学する人にとっても、暮らしやすく過ごしやすいまちづくりを進めます。

星が輝き青く澄んだ空、きれいな海、そして、美しい山並みと田園風景、歴史・文化資源は、瀬戸内市が誇れるものの一つです。この自然環境や景観、古き良き伝統や技術を守り、次の世代に引き継いでいくため、自然との共生や脱炭素社会の実現に取り組むなど、環境や文化伝承に配慮したまちづくりを進めます。

#### 指標

名 称	単 位	現状値	目標値				
		R2	R4	R6	R8	R10	R12
「愛着が持て、誇れるまち」を実感している市民の割合	%	34.1	39.2	44.4	49.6	54.8	60.0

## ■「人口が著しく減少している地区で生活する市民」にとって

### 瀬戸内市は、安全・安心で豊かに楽しく暮らせる住みよいまちをつくりまします。

瀬戸内市でも、南部や東部地域、中山間地域では今後ますます人口が減少していくことが予測されています。豊かな自然の中で、人とのふれあいを大切に、ゆとりある生活様式を実践するために、瀬戸内市に住みたいと思ってもらえるような、他地域からの移住希望者、いわゆるU・I・Jターン\*希望者を積極的に受け入れる環境づくりを進めます。

若い世代が住み続けたいと思え、かつ、地元に戻って生活したいと思えるまちにするため、雇用の場の確保と居住環境の整備を進めます。また、地域への愛着心や関心を醸成し、継続的に多様な形で地域に関わる関係人口の創出を進めます。

昔ながらの地域での支えあいを保ちながら、積極的に地域を越えた交流ができる環境づくりを進めます。

道路や公共交通機関等の生活基盤の整備により、移動が困難な高齢者にとっても買い物等の日常生活がしやすく、かつ、安心して医療や福祉・介護サービスを受けることができる地域づくりを進めます。

防犯・防災に対する社会基盤の整備を進めるとともに、市民意識の向上に努めます。

#### 指標

名 称	単 位	現状値	目標値				
		R2	R4	R6	R8	R10	R12
「安全・安心に暮らせる住みよいまち」を実感している市民の割合	%	69.2	71.2	73.4	75.6	77.8	80.0

## ■「犯罪のない安全な生活を願う市民」にとって

### 瀬戸内市は、地域みんなで防犯に力を入れるまちをつくります。

防犯に関する相談や組織づくりを進めるとともに、子ども・青少年期から防犯に対する意識を育てるなど、常に防犯意識を持った市民を育てます。

また、道徳教育を進めることにより、社会の規律が守れる市民を育てます。

#### 指標

名 称	単 位	現状値	目標値				
		R2	R4	R6	R8	R10	R12
「地域みんなで防犯に力を入れるまち」を実感している市民の割合	%	42.4	46.0	49.5	53.0	56.5	60.0

## ■「災害に対応する市民」にとって

### 瀬戸内市は、防災体制が整った、災害に強いまちをつくります。

いつ発生するかわからない地震災害や大型化・激甚化する台風による災害等に対し、高潮対策や河川の改修、ライフライン\*の整備など、災害に強いまちづくりを進めるとともに、万が一の時には、素早く、安全に避難できるよう、平時においても常に防災意識を持ち、力を合わせて行動できる市民を育てます。

災害が起こった場合でも、被災者が素早い援助と復興支援が受けられるなど、被害を最小限に食い止めることができる強靱なまちづくりを進めます。

#### 指標

名 称	単 位	現状値	目標値				
		R2	R4	R6	R8	R10	R12
「防災体制が整った、災害に強いまち」を実感している市民の割合	%	35.9	39.8	43.6	47.4	51.2	55.0

## ■「消費者としての市民」にとって

### 瀬戸内市は、かしこい消費者が多いまちをつくります。

地元の産物を大切に、地元で消費できるよう生産・流通ルートの確立を目指します。

また、消費者自らが学び、同時に市民同士の情報交換を行うことにより、消費に対する意識を向上させ、環境に対する高い意識を持ち、悪質商法から身を守れるといった「かしこい消費者」を育てます。

#### 指標

名 称	単 位	現状値	目標値				
		R2	R4	R6	R8	R10	R12
「かしこい消費者が多いまち」を実感している市民の割合	%	30.6	35.4	40.3	45.2	50.1	55.0

## ■「交通弱者」にとって

### 瀬戸内市は、交通弱者を守ることができるまちをつくります。

子どもや、今後さらに増加が予測される高齢者は、交通弱者となり得る可能性があり、これら交通弱者を守るため、路線の維持・確保や一定の利便性を確保するための地域内交通の導入を進め、だれもが不自由なく外出することができるまちづくりを進めます。

交通安全に対する意識を向上させるとともに、道路や歩道、防犯灯などの整備により危険箇所を改善し、安全に通行できる環境づくりを進めます。

#### 指標

名 称	単 位	現状値	目標値				
		R2	R4	R6	R8	R10	R12
「交通弱者を守ることができるまち」を実感している市民の割合	%	40.5	44.4	48.3	52.2	56.1	60.0

## ■「農水産業従事者」にとって

### 瀬戸内市は、農水産業で生活できるまちをつくります。

若い世代へ伝統、技術の継承を積極的に行い、後継者を育成するとともに、鳥獣被害対策の実施、環境負荷軽減技術の導入等により、持続可能な農業を行うための環境づくりを進めます。

市民が地元の農産物、水産物を消費することにより、生産者と消費者の距離が近いまちをつくります。

地元の農産物、水産物、またこれらの加工品がブランド化され、全国展開できるよう、積極的に消費拡大に向けた情報発信やPRを行うとともに、消費者が地元の産物に高い価値を見出し、生産者が組織化の機運を高めることができるよう、市民と行政が一体となって支援することにより、地域一体で地元の特産品づくりを進めます。

また、環境保全型農業の導入や遊休農地等の有効活用により、まちの誇りである田園環境を守ります。

#### 指標

名 称	単 位	現状値	目標値				
		R2	R4	R6	R8	R10	R12
「農水産業で生活できるまち」を実感している市民の割合	%	31.2	34.8	38.6	42.4	46.2	50.0

## ■「商工業従事者」にとって

### 瀬戸内市は、意欲的に事業に取り組めるまちをつくります。

独自性のある新しい産業や地域の産物を市民と行政が一体となって支援するとともに、道路や公共交通機関を整備し、労働者や消費者が、通勤・買い物がしやすい環境をつくります。

また、優秀な人材の確保と経営の安定化への支援を進め、商工業者がやりがいを持って事業に取り組めるまちをつくります。

#### 指標

名称	単位	現状値	目標値				
		R2	R4	R6	R8	R10	R12
「意欲的に事業に取り組めるまち」を実感している市民の割合	%	25.6	30.4	35.3	40.2	45.1	50.0

## ■「市内外企業」にとって

### 瀬戸内市は、企業が進出しやすい条件が整ったまちをつくります。

企業が実施する新規事業や事業の拡大に対する支援を進めるとともに、道路網の整備による他県他市町への往来がしやすいまちづくりを進めます。

子どもの学力を向上させるとともに、道徳性や社会性を身につける教育を積極的に進めることにより、企業が求める優秀な人材となり得る人づくりを進めます。

企業が地域コミュニティへ参画し、市民も企業の事業活動を理解することにより、地域と企業が相互に理解を深め、地域に愛着が持てるまちづくりを進めます。

また、企業間の製品等の共同開発を支援するとともに、産学官による共同開発の仕組みをつくります。

#### 指標

名称	単位	現状値	目標値				
		R2	R4	R6	R8	R10	R12
「企業が進出しやすい条件が整ったまち」を実感している市民の割合	%	32.7	36.4	39.8	43.2	46.6	50.0

## ■「観光客・観光産業従事者」にとって

### 瀬戸内市は、にぎわいと活気のある観光のまちをつくります。

市民が、豊かな自然や景観、歴史・文化を大切にし、故郷として誇りや愛着が持てるまちづくりを進めます。  
観光客に対しては、魅力ある観光資源の開発や質の高い受入環境の整備を進め、誰でも気軽に訪れることができ、何回でも行ってみたいと思えるまちづくりを進めます。

#### 指標

名称	単位	現状値	目標値				
		R2	R4	R6	R8	R10	R12
「にぎわいと活気のある観光のまち」を実感している市民の割合	%	19.3	23.2	27.4	31.6	35.8	40.0

## ■「地縁団体・NPO\*等各種団体」にとって

### 瀬戸内市は、自らの力で地域を改善していけるまちをつくります。

地域住民みんなが支え合いながら、まちづくりに強い関心を持ち、理解を深め、お互いが知恵を出し合い、協働\*による地域の活性化に向けた活動ができる環境づくりを進めます。

また、市民団体やボランティア組織等の活動を、相互に情報提供・情報交換が行える環境づくりを進めます。

#### 指標

名称	単位	現状値	目標値				
		R2	R4	R6	R8	R10	R12
「自らの力で地域を改善していけるまち」を実感している市民の割合	%	35.7	38.8	41.6	44.4	47.2	50.0



## ■「納税義務者」にとって

### 瀬戸内市は、納税に対する意識が高いまちをつくります。

市民と行政がお互いに知恵を出し合いながら、公平かつ公正な行財政運営を進めることにより、市民の納税に対する信頼性を高め、納税者である市民に税金が還元されていると実感できるまちづくりを進めます。

市税等の滞納者に対しては、積極的な滞納処理策を講じながら、だれもが公平に納税義務が果たせるまちづくりを進めます。

#### 指標

名 称	単 位	現状値	目標値				
		R2	R4	R6	R8	R10	R12
「納税に対する意識が高いまち」を実感している市民の割合	%	30.1	34.0	38.0	42.0	46.0	50.0

## ■「将来の市民」にとって

### 瀬戸内市は、素晴らしい自然や景観、伝統、歴史・文化が引き継がれたまちをつくります。

次代を担う人々が、自然や景観、歴史・文化について理解することは、故郷に対する誇りや愛着につながります。郷土が誇れる素晴らしい自然や景観、歴史・文化を大切にし、同時に、古きよき伝統文化や技術を次の世代に継承します。

自分の住んでいる地域だけでなく、他地域の良さを認識した上で、市民が主役となってまちづくりを進め、市民の融和と一体感を醸成するとともに、次の世代のためにより良い生活環境を創造し継承します。

また、中長期的な視点に立ち、まちの規模にあった行財政運営を進めます。

#### 指標

名 称	単 位	現状値	目標値				
		R2	R4	R6	R8	R10	R12
「素晴らしい自然や景観、伝統、歴史・文化が引き継がれたまち」を実感している市民の割合	%	64.4	66.6	68.7	70.8	72.9	75.0

# 「将来のまちの姿」を 実現するための基本理念

将来像及び20年後のまちの姿を実現するため、次の基本理念に基づき施策を推進します。

## 基本理念 1 環境重視

自然環境の保全をはじめ、環境への負荷が少ない社会をつくるため、脱炭素社会の実現に向けた新たな地域の創造やライフスタイル\*の転換など、様々な分野を通じて環境に配慮した取組を進めます。

## 基本理念 2 人権尊重

基本的人権を保障する日本国憲法や「すべての人間は、生まれながらにして自由であり、かつ、尊厳と権利について平等である。」とした世界人権宣言を念頭に、「差別をしない、させない、許さない」社会の実現と、誰もが活躍し居場所と役割を持つ社会を目指した取組を進めます。

## 基本理念 3 安全・安心

火災や自然災害をはじめ、世界各地で発生するテロ行為や凶悪犯罪、悪質商法、振り込め詐欺等から市民の生活を守るとともに、感染症への対策の強化や、食に対する安全性を確保するなど、強靱化\*施策による災害に強い地域社会づくりと、安全・安心に配慮した取組を進めます。

## 基本理念 4 定住促進

人口減少を少しでも抑制するため、市民のQOL\*が向上するよう、生活基盤を整備するとともに、雇用の場を確保するなど、若い世代が住み続けたいと思え、かつ、地元に戻って生活したいと思えるまちの創造に向けた取組を進めます。

また、温暖な気候や災害の少なさなどがもたらす住環境の良さ、子育てがしやすい、といった地域特性についてもブランド化を進め、全国に誇りを持って情報発信を行うことにより、定住者の確保に向けた取組を進めます。

## 基本理念5 情報公開と市民参画・協働\*

「自己決定・自己責任」の原則のもと、地方分権\*社会の中で、行政は市民に積極的に情報を公開することで、市民の行政への参画の機運を高め、自分たちの地域は自分たちの手で創造し、地域課題を解決する、市民と行政の協働による取組を進めます。

また、行政が地域の実情を熟知し、地域の特性を生かしたまちづくりに取り組む地域・市民団体等と一層の連携強化を図り、活力ある地域づくりの取組を進めます。

## 基本理念6 効率的・効果的な行財政運営

多種多様化する市民ニーズに的確に対応するため、部署横断的に情報共有や政策推進ができる組織・人材の育成を進め、ICT\*（情報通信技術）の積極的な活用により業務の効率化を図るとともに、行財政改革や税外収入確保により財政基盤を強化し、中長期的な視点に立って、限られた財源を重点的・集中的に配分しながら取組を進めます。

また、最小の経費で最大の成果が得られるよう、EBPM\*（根拠に基づく政策立案）の推進や、AI\*（人工知能）やIoT\*（さまざまな物がインターネットにつながること）などのデジタル技術の導入を通じた、実効性の高い取組を進めます。

## 基本理念7 SDGs\*（持続可能な開発目標）達成

豊かでゆとりある生活は、先人から受け継いだ生活習慣や自然、歴史・文化から成り立っていることを十分理解し、「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会を実現するため、未来の視点に立ったSDGsの達成に向けた取組を進め、将来の世代へより良い生活環境を創造し引き継ぎます。

## 基本理念8 感染症対策

新型コロナウイルスをはじめとする感染症の影響は、人の生命や生活のみならず、経済、社会、人の行動や意識、価値観にまで多方面に波及します。ニューノーマル\*（新たな日常）を構築し、地域の持続的な発展につながる取組を進めます。

# 土地利用

土地は限られた資源であるとともに、現在及び将来にわたって市民の生活及び生産などのあらゆる活動の共通の基盤となるものです。そして、その利用のあり方は、市の発展や市民生活と密接に結びついています。

広域的・長期的視点に立って計画的かつ調和のとれた土地利用を推進し、豊かな自然と暮らし、そして産業活動が調和した良好な地域環境の形成と市の均衡ある発展を図るため、土地利用の基本方針を次のとおり定めるとともに、市域を、市街地ゾーン、農業振興ゾーン、工業導入ゾーン、観光・レクリエーションゾーン、自然環境ゾーンに区分し、計画的な整備を進めます。

## 土地利用の基本方針

- ① 海・山・河川の豊かな自然を大切にし、緑と水に親しむ空間を確保します。
- ② 貴重な歴史・文化資源、景観を大切にし、それらを活用して文化的風土を高め育てます。
- ③ うるおいのある住環境・生活空間を確保します。
- ④ まちの顔となる地域拠点の整備を図ります。
- ⑤ 定住と子育てのできる基盤の整備・確保を図ります。
- ⑥ 農林水産業、工業、商業、観光の調和のとれた産業基盤を確立します。
- ⑦ 全市的・広域的にネットワーク化された道路・交通体系を確立します。
- ⑧ 地域間の均衡のとれた土地利用を推進します。

## 市街地ゾーン

JR赤穂線沿線及び牛窓支所周辺については、商業施設や行政機能の集積を図るとともに、定住を促進する良好な住宅・住宅地の整備誘導を促進します。

また、既存住宅地の居住環境を高めるため、生活道路や下水道、身近な公園などの整備を推進します。

## 農業振興ゾーン

稲作や野菜、果樹などの生産振興を図るとともに、優良農地の適切な維持・確保や遊休農地の有効活用などを進めます。

また、下水道の推進により、各集落の居住環境の向上を図り、あわせて景観の保全に努めます。

## 工業導入ゾーン

自然環境や生活環境の保全、景観との調和を図りながら、企業誘致を進めるとともに連絡道路の整備を促進します。

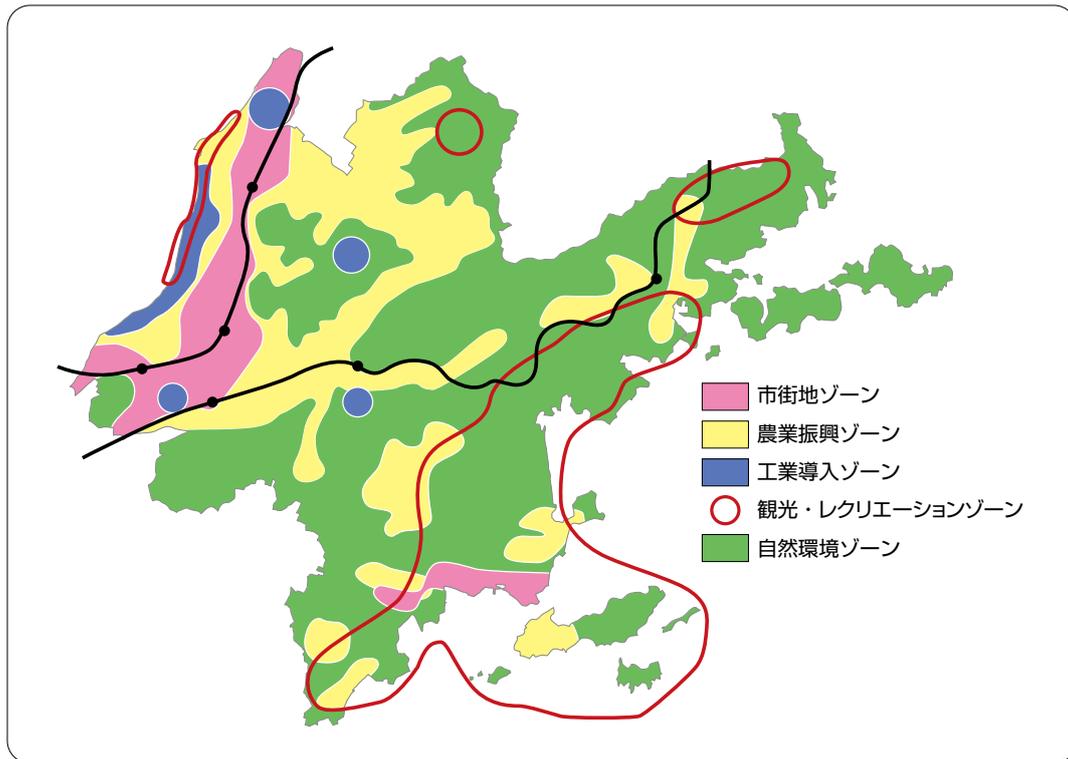
## 観光・レクリエーションゾーン

自然学習や自然スポーツ・レクリエーションなど、自然と親しむ場や子どもの遊び場を確保するため、市民の森、長船美しい森などの森林公園や吉井川河川公園、海岸・海洋の活用を図るとともに、瀬戸内海の多島美等の自然景観、歴史的な史跡や建造物、まちなみの残る地域の保全に努めることにより、にぎわいと活気のある観光地域を形成します。

## 自然環境ゾーン

国土保全、水源かん養、野生生物の生息環境、保健・休養などの機能を持つ森林や河川、海岸などの自然環境の保全を図るとともに、治山治水や海岸保全事業の促進を図ります。

図 11 土地利用方針図



# 施策の大綱

## 基本構想

### 将来像

人と自然が織りなす しあわせ実感都市 瀬戸内

土地利用

基本理念

### 20年後のまちの姿（市民の区分別）

- ★乳幼児（0歳～5歳）とその家庭 安心して子どもを出産し、育てることができるまち
- ★小学生・中学生・高校生（6歳～18歳）とその家庭 子どもたちが夢を育むことができるまち
- ★青年期・壮年期（19歳～44歳） 住んでいることを誇れるまち
- ★中年期（45歳～64歳） 子どもと一緒にこのまちに住んでよかったと思えるまち
- ★高齢者（65歳～） 元気に暮らせるまち
- ★人権を尊重する市民 だれもがいそいそと明るく暮らせるまち
- ★学ぶ市民 互いに学びあい、教えあい、人がつながるまち
- ★外国人 暮らしやすい国際性の豊かなまち
- ★健康で自立した生活を願う市民 元気でいきいきと暮らせるまち
- ★医療を受ける市民と医療従事者 いつでも安全に安心して医療サービスが受けられるまち
- ★障がい者 毎日明るく、明日へ希望が持てるまち
- ★経済的に困窮する市民 生活困窮者が自立できるまち
- ★瀬戸内市で生活（通勤・通学含む）する人 愛着が持て、誇れるまち
- ★人口が著しく減少している地区で生活する市民 安全・安心で豊かに楽しく暮らせる住みよいまち
- ★犯罪のない安全な生活を願う市民 地域みんなで防犯に力を入れるまち
- ★災害に対応する市民 防災体制が整った、災害に強いまち
- ★消費者としての市民 かしこい消費者が多いまち
- ★交通弱者 交通弱者を守ることができるまち
- ★農水産業従事者 農水産業で生活できるまち
- ★商工業従事者 意欲的に事業に取り組めるまち
- ★市内外企業 企業が進出しやすい条件が整ったまち
- ★観光客・観光産業従事者 にぎわいと活気のある観光のまち
- ★地縁団体・NPO等各種団体 自らの力で地域を改善していけるまち
- ★納税義務者 納税に対する意識が高いまち
- ★将来の市民 すばらしい自然や景観、伝統、歴史・文化が引き継がれたまち

環境重視

人権尊重

安全・安心

定住促進

情報公開と  
市民参画  
・協働

効果的・  
効率的な  
行財政運営

SDGs達成

感染症対策

# 基本計画

施策大綱	施策	今後の主な取組
未来に輝く人づくりと文化の創造	<p>みんなの思いやりがあふれる人権尊重のまち                      子どもが楽しく学び成長を実感できるまち                      子どもの成長をみんなで見守るまち                      互いに学びあい、教えあい、人がつながるまち                      スポーツを通じ健やかに暮らせるまち                      国際社会にはばたく人を育むまち                      歴史・文化や芸術を大切にするまち</p>	<p>人権教育・人権啓発を通じて人権意識を醸成します                      学力を向上します                      家庭教育に関する情報や学習機会・集いの場を提供します                      学習活動を促進するための情報を発信します                      スポーツ活動の場所と機会を提供します                      国際理解のための学習機会を提供します                      文化財の保護・保存・活用と情報発信を行います</p>
健やかでいきいきとした暮らしの実現	<p>健やかに暮らせるまち                      質の高い医療が受けられるまち                      安心して笑顔で子育てできるまち                      働きながらでも安心して子育てできるまち                      高齢者が元気なまち                      いくつになっても安心して暮らせるまち                      高齢者を地域ぐるみで支えあうまち                      障がい者がいきいきと暮らせるまち                      生活困窮者が自立できるまち</p>	<p>健康づくり活動への理解と意識啓発を進めます                      地域包括ケアの理念に沿った医療提供体制を整えます                      子育て家庭への情報提供・相談体制を強化します                      保護者のニーズにあった保育サービスを提供します                      高齢者の社会参加を促進します                      ニーズに合った介護・福祉サービスを提供します                      高齢者の孤立を防止します                      社会的活動の充実を図ります                      生活困窮者の自立を支援します</p>
安全・安心で快適な暮らしの実現	<p>活力を生み調和のとれた土地利用を進めるまち                      光輝く自然・まちなみが残るまち                      住んでみたい・住み続けたいと思える住宅があるまち                      便利で快適な道路が通ったまち                      河川・海岸・港湾が整備された安心なまち                      自由に行き来できるまち                      便利な情報ネットワークがあるまち                      安全で安心な水道水が飲めるまち                      きれいな水を未来へ渡すまち                      環境に配慮した美しいまち                      人と地球にやさしいまち                      防災意識の高いまち                      交通事故ゼロをめざすまち                      地域みんなで防犯に力を入れるまち                      消費者を守り育てるまち</p>	<p>都市と農漁村の調和のとれた土地利用を進めます                      協働によりふるさとの原風景や自然景観を保存します                      空き家を活用した「せとうち暮らし」を応援します                      市民の要望に応えた道路を整備します                      河川改修を促進し、適切な維持管理に努めます                      公共交通機関の利用を促進し、路線の維持・拡充に努めます                      電子自治体の実現に向けて、行政手続等のオンライン化を進めます                      安全で良質な水を供給します                      下水道の整備を進めます                      ごみを減量します                      新エネルギーの導入を促進します                      市民の防災意識を高め、災害の減災に努めます                      交通安全教育・啓発を行います                      市民の防犯意識を高めます                      消費者教育を行います</p>
活力ある産業と魅力ある観光都市の創出	<p>農林業にやりがいを見出すまち                      水産業に活力が生まれるまち                      商業・サービス業の経営の安定化に取り組むまち                      企業が進出しやすく経営が安定するまち                      雇用・労働環境が整ったまち                      にぎわいと活気のある観光のまち</p>	<p>農業後継者の確保と集落営農組織を育成します                      獲る漁業から育てる漁業への転換を促進します                      経営の安定化と活性化に取り組む企業を支援します                      企業誘致に向けた環境づくりに取り組みます                      雇用機会を創出・拡大します                      最新の観光情報を効果的に発信します</p>
市民と行政が協働で進める自主自立した都市の実現	<p>透明で開かれた市役所があるまち                      市民ニーズにこたえる市役所があるまち                      みんなが知恵を出しあい助けあうまち</p>	<p>市民や団体などから意見を求めます                      事業の取捨選択を行い、歳出のスリム化を進めます                      協働によるまちづくりを進めます</p>